

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公表番号】特表2006-527253(P2006-527253A)

【公表日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【年通号数】公開・登録公報2006-047

【出願番号】特願2006-516391(P2006-516391)

【国際特許分類】

C 0 7 D 211/46 (2006.01)
 A 6 1 K 31/445 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)
 A 6 1 P 25/08 (2006.01)
 A 6 1 P 9/10 (2006.01)
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 P 31/00 (2006.01)
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)
 A 6 1 P 3/10 (2006.01)
 A 6 1 P 15/16 (2006.01)
 A 6 1 P 3/04 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/02 (2006.01)
 A 6 1 P 1/04 (2006.01)
 A 6 1 P 11/06 (2006.01)
 A 6 1 P 31/04 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 211/46	C S P
A 6 1 K 31/445	
A 6 1 P 43/00	1 1 1
A 6 1 P 35/00	
A 6 1 P 25/28	
A 6 1 P 25/08	
A 6 1 P 9/10	
A 6 1 P 25/16	
A 6 1 P 25/00	
A 6 1 P 31/00	
A 6 1 P 13/12	
A 6 1 P 3/10	
A 6 1 P 9/10	1 0 1
A 6 1 P 15/16	
A 6 1 P 3/04	
A 6 1 P 29/00	
A 6 1 P 29/00	1 0 1
A 6 1 P 19/02	
A 6 1 P 1/04	
A 6 1 P 11/06	
A 6 1 P 31/04	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年6月7日(2011.6.7)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0037

【訂正方法】変更

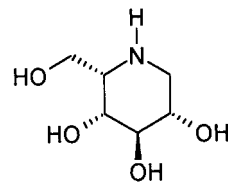
【訂正の内容】

【0037】

とりわけ、式(I)の化合物は、

(a)式(II)の化合物を：

【化6】

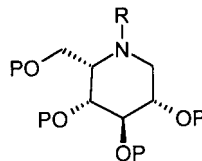


(II)

酢酸 - メタノール若しくはHCl - メタノール中で、NaBH₃CN若しくは(ポリスチリルメチル)トリメチルアンモニウムシアノボロヒドリドなどの担持試薬を用い、又はジクロロメタンなどの溶媒中で、NaBH(OAc)₃を用い式R²CHOのアルデヒド(但し、R²は、式(I)で定義したとおりの置換されているフェニルである)と反応させるか、又は

(b)式(III)の化合物の脱保護：

【化7】



(III)

(式中、Rは式(I)で定義したものと同一であり、Pは同一又は異なってもよく、ヒドロキシ保護基、例えばベンジル(Bn)である。)を含む方法で調製することができる。PがCH₂Phの場合、脱保護は、例えばエタノールのアルコールなどの適当な溶媒中に水素ガスとPdCl₂又はパラジウム担持炭素などの触媒の存在下で実施される。PがCH₂Phの場合、これらの条件下で窒素置換基も離脱されて、式(II)の化合物を得ることができることは理解されよう。したがって、式(I)の化合物は上記方法a)を用いて生成されることが好ましい。